

公益財団法人 富徳会

平成26年度第一回理事会議事録

- 1 日 時 平成26年5月16日（金）午後5時00分～午後5時55分
- 2 会 場 東京都千代田区内神田1-10-6 一世会館 3階会議室
- 3 出席者 理事現在数6名 定足数 4名
- [理事出席者] 小林健二郎（代表理事・理事長）、武者良憲（常務理事）
中原 泉、金子 謙、野口 俊英 以上5名
- [理事欠席者] 江藤 一洋 以上1名
- [監事出席者] 上林 博、大橋 常男 以上2名

4 議 案

- 決議事項 第1号議案「平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告の承認」の件
第2号議案「選考委員会規程変更」の件
- 報告事項 ①平成26年度収支予算書の説明
②平成26年度研究者助成の応募状況の報告
③有価証券(研究助成基金の部)の時価評価についての報告

5 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

武者常務理事が出席者の確認を行い、理事現在数6名中5名の出席があり定款第41条の規定に定める定足数を満たしており、本理事会が成立する旨を報告した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

小林理事長の開会の挨拶の中で、当財団の井口寛治理事が3月25日に逝去されたことを報告し、出席者全員でご冥福を祈って黙とうを捧げた。

定款に基づき小林健二郎代表理事が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は定款第44条2項の規定に基づき、小林代表理事、上林監事、大橋監事とし、審議に移った。

(決議事項)

第1号議案「平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告の承認」の件
議長の指名により武者常務理事から資料（公益財団法人富徳会事業報告及び決算報告：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）に基づいて詳細な説明がなされた。特に新公益法人発足二年目に当たり、財務内容の充実並びに健全性を図るべく、選考委員及び役員の退職慰労引当金を設けたこと、その費用についても詳細な説明した。続いて議長の求めに応じて監事を代表して大橋監事より事業及び決算に関する監査の結果を、同資料13頁記載の監査報告書の内容に基づき報告がなされた。その後質疑が行われ、議長はその可否を諮ったところ、異議なく議案を原案通り出席者全員一致で承認可決した。

第2号議案「選考委員会規程変更」の件

議長の指名により武者常務から資料に基づき詳細に説明がなされた。変更理由として、従来から、選考委員には退職時に謝金を支払っていたが、この際、明文化のため、本規程に新たに4項目の条文を追加し、平成26年4月1日より施行することの説明がなされた。

その後、質疑が行われ、議長はその可否を諮ったところ、異議なく議案を原案通り出席者全員一致で承認可決した。

(報告事項)

① 成26年度収支予算書の説明

平成25年度決算報告においては、内部管理資料として収支計算書が詳細に説明された。次年度からも同様に内部管理資料として説明がなされることより、事業予算においても収支予算書が必要であり、平成26年度の事業予算の内部管理資料として収支予算書を加えることの説明がなされた。その結果、出席者全員一致で了承した。

② 平成26年度研究者助成の応募状況の報告

平成26年度の研究者助成募集を4月1日より開始し、5月31日に締め切りの予定。そして6月16日に選考委員会を開催し、所定数の研究助成者を選考することの報告がなされた。

また、5月15日現在の応募者は予定助成件数を下回る11件であるが、通常は、締め切り間際の応募が多いことの報告がなされ、出席者全員一致で了承した。

③ 有価証券(研究助成基金の部)の時価評価についての報告

研究助成基金の有価証券内容は主に株券、投資信託などであり、これらの価格および配当金・利息は日本を含めた世界経済情勢により左右されることが多いので、有価証券の時価を、年度末時点において評価した資料に基づいて報告がなされた。その結果、出席者全員一致で了承した。

以上をもって、全ての審議並びに報告を終了し、午後5時55分議長は閉会を宣した。以上、この議事録が正確であることを証するため、出席の代表理事及び監事は次に記名押印した。

平成26年5月19日

代表理事・理事長 小林 健二郎

監 事 上林 博 

監 事 大橋 常男 